

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援ふじのみ園		公表日		7年 2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	4	・広いスペースを使いたいときには、2クラスで話し合って使っている。	・定員に対して支援室のスペースとしては狭すぎて、活動が制限される可能性がある。 ・子どもがクールダウンしたり、検査を実施したりする部屋がない。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・年度の途中から利用が増える傾向にあり、職員がゆとりをもって療育を行うとともに、児童の安全安心の確保のために、職員を増員して対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	・構造化や手順書などの視覚支援の工夫により、子どもたちにわかりやすい環境づくりに努めている。 ・収納スペースが不足しており、大型の遊具を収納する場所がなく苦慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・毎日、おもちゃの消毒や雑巾がけなどを職員が分担して行い、清潔な環境づくりに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	5	・個別の課題を行ったり、発達検査を行ったりする部屋がないので、パーテーションを活用しながら対応している。	・遊戯室や相談室の有効活用について工夫していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		・業務改善のためのPDCAサイクルに職員が参画できるようなあり方を検討していきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年度保護者による事業所評価を実施し、保護者の意向を踏まえて業務改善を行うように努力している。	・事業所評価の公表結果を保護者に配布する予定。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・年に1回職員面接を行い、様々な意見を把握する機会としている。	・職員の意見等を把握する機会を増やすよう検討する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3	・実施していない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・職員会でのミニ研修、発達協会のウェビナー研修、児発管研修などにより、職員のスキルアップに努めている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	・療育支援プログラムは、3月に公表予定。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・個々の子どもの実態については、独自の状況表(チェックリスト)や検査、観察等によりクラスごとにアセスメントを行い、ニーズ分析を踏まえ個別支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・個別支援計画の作成に当たっては、クラス担任と児発管で協議の上で作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・ケース会議を開催し、個々の子どもの課題等について職員間でしっかりと共通理解を図っている。 ・週案の作成にあたっては、個別支援計画と照らし合わせて活動内容を決めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・子どもの適応状況について、日々の行動観察をはじめ、K式発達検査やKids検査などによりアセスメントを行って把握している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の項目を設けて記入し、保護者への説明と同意のもとで療育を実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・活動プログラムは、基本的にはクラスで順番に作成しているが、作成にあたっては、クラスの担任同士で適宜相談しながらプログラムを作成している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・曜日によって通所園児が異なるため、プログラムが固定化しないように配慮している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・集団活動が中心となるが、個別活動も週あたり1回は入れるように計画している。	・利用児童の人数が多くなった場合は、活動を2つに分けるなどして、活動機会を確保する。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・毎日朝礼終了後の連絡に合わせて、その日の支援内容や役割分担について確認している。 ・その日の確認事項等については、ホワイトボードに記入して職員間で共有している。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	・支援終了後の打ち合わせ時間は設けていないが、担任間でできるだけタイムリーに情報共有をしたいたり意見交換をしたりして、次の療育に生かすようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・毎日の保育日誌にその日の活動内容や児童の反応について記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・保育日誌の活動記録が、そのままモニタリングになり、担任及び児童発達支援管理責任者で振り返りを行って、個別支援計画の見直しにつなげている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・クラス担任が参加することを原則として、必要に応じて園長、主任も参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	・嘱託医による発達相談、外部委託のST、OTによる利用児の観察・助言を通して療育に生かしている。 ・園だよりを、地域の保健師、教育委員会、障がい福祉課に必ず送付し、現状を伝えるとともに、理解を図りながら連携に努めている。	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・併用先の保育所や幼稚園等との情報共有や地域の保育所との交流により、インクルージョンの推進に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・毎年5月に養護学校及び教育委員会から講師を招き、就学懇談会を開催している。 ・年中の段階では、保護者による養護学校や特別支援学級への見学をすすめ、年長の段階では、それぞれ希望する学校での体験をすすめている。 ・移行支援会議への参加	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	7		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	・同じ法人に所属する法吉保育所との交流を実施している。	・交流の回数を増やしていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6		・保護者向けの研修会の開催について検討していきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・運営規定、利用者負担等については、利用開始時に必ず重要事項として説明をしている。	・支援プログラムについては、3月に公表予定であり、保護者には印刷したものを配布する予定である。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・個別支援計画の作成に当たっては、必ず保護者面談を実施し、内容を説明し同意を得た上ですすめている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	・同上。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・保護者とのコミュニケーションをできるだけ取るようにして、悩みなどを聞いて対応している。 ・必要に応じてこちらからの声掛けや保護者の申し出により、園長による相談の場を設け、助言や支援を行っている。	・子育ての悩み等に対する相談の実施について、保護者に周知を図っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	・保護者会により、保護者会や茶話会を計画し、保護者同士の交流の場を設けている。	・兄弟同士の交流の機会は、現時点では設けていないが、保護者のニーズが高ければ検討してみたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・保護者から相談や申し入れがあった場合には、できるかどうかの判断も含め可能な限り迅速に対応するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・毎月園だよりを発行し、園での様子や行事予定、連絡事項等について保護者への周知を図っている。 ・youtubeの限定公開により療育の様子を動画配信し、園での様子の理解に努めている。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人情報の取り扱いについては、利用開始時に保護者に同意を得て留意しながら対応している。	・園だより、ホームページ等への掲載する情報について、個人情報に十分配慮して掲載するようにする。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・外国出身の保護者に対して、文書や園だよりにルビを必ずふるなどして対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		・地域住民への働きかけは現時点では行っていない。今後の検討課題である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		・各種マニュアルについては、保護者への周知が不足しており、今後周知の在り方について検討していきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・業務継続計画(BCP)を作成している。また、火災や地震等の避難訓練を年間3回実施している。 ・職員を対象に幼児救命法を毎年必ず実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・利用説明の際や利用開始時、個別支援計画の面談時等に把握するようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・食物アレルギーのある子どもについては医師の指示書をとってもらうように保護者をお願いして、それに基づいて対応するようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・安全管理に必要な研修を管理者が受けて、職員に周知するように努めている。	・安全管理に必要な研修は、職員に幅広く受講させていくようにする必要がある。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		・家族等への周知が不十分なので、今後その在り方について検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ヒヤリハット用紙をすぐ出せる場所においておき、すぐに記入できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・虐待防止の職員研修を必ず実施するとともに、虐待防止委員会を1回以上開催し、虐待防止視察の確認の現状の共通理解を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	・身体拘束等の適正化について、職員に周知を図るとともに、身体拘束等適正化委員会を開催し、身体拘束等適正化指針の周知徹底を図るようにしている。 ・現時点では、個別支援計画に記載する児童はいない。	